

建部つながり見つけ



旧建部小学校



吉住池から

連絡先 建部地区社会福祉協議会（建部コミュニティセンター内）
TEL 0748-22-0303 IP 050-5801-0303
E-mail tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp

この冊子は、東近江市生活支援体制整備事業 第2層協議体運営業務の委託を受け作成したものです。

編集： 認定特定非営利活動法人
まちづくりネット東近江



お友達登録をお願いします

建部の地域づくりを考える会

集まって やって 気にかけ合って ”顔が見えるおつき合い”ができるまち

建部地区に住むみんなさんが人や地域とつながり、お互いに気にかけ合い、また支え合いながら安心して暮らせるまちづくりを進めています。

みんなが顔を合わせ 声をかけ合おう

- ◇あいさつ運動の展開
- ◇回覧板は一声かけて手渡し
- ◇子どもや高齢者の見守り活動
- ◇災害時のネットワークづくり

住民が集える場 を作ろう

- ◇ふれあいサロンの充実
- ◇3世代が交流できる居場所づくり

たてべにある活動を 広めよう

- ◇命のバトン（まち協）
- ◇見守り給食
(地区社協・各種団体)

お互いさまのまち たてべ

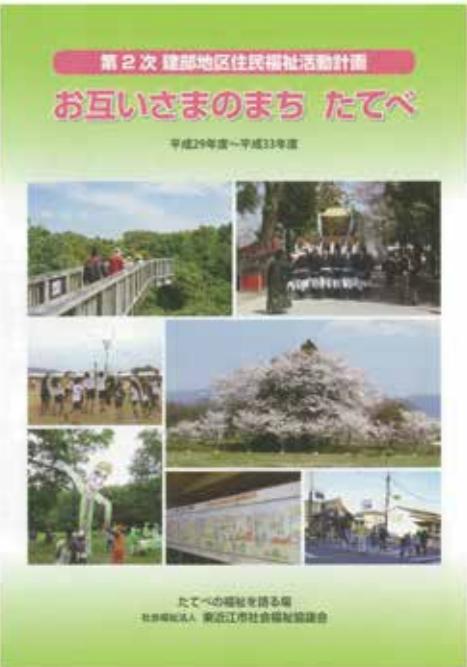
たてべの良さを 伝えよう

- ◇各町での伝統行事の伝承
- ◇建部の自然を守ろう

地域を担う人を 育てよう

- ◇子どもが活躍できる場づくり
- ◇高齢者の知恵や経験を活かす
場づくり

建部地区には昔から続く講やふれあいサロン、スポーツ・趣味での集まりなどつながり合える集いの場がたくさんあります。また、建部地区の特産物や地域に根ざした介護事業所など、建部地区にとって自慢できるものもたくさんあります。これらはすべて「建部のお宝」です。普段、身近にあるこの「**建部のお宝**」を再発見し、つながりや支え合いを大切にして、「建部地区に住んでいてよかった…」とみなさんが思える地域づくりに取り組んでいます。



建部の地域づくりを考える会

建部地区社会福祉協議会を中心として、まち協や民児協、自治連、あったか人情ネットワーク、介護事業所など様々な人が集まり、地域のことをみんなで話し合っています。



たてべの福祉を語る場



2か月に1回、ふれあいサロンのスタッフや介護事業所の職員が集まり、サロン活動の情報交換や身近な地域のことを共有し、サロン活動や見守り活動の充実に取り組んでいます。

「つながりの場」を見つけよう

昔からのつながりの一つに「講」があります。建部地区の集落にもいくつかの「講」があり、そこで暮す人々がつながる大事な場となっています。「講」とは同じ信仰を持つ者の集まりですが、村の寄り合い的なものであったり、食事をしたり、おしゃべりを楽しむ娛樂的な面も持っています。

昔は娯楽が少なかったので、このような講が楽しみの場であり、社会生活上大切な組織でした。

- 有名な神社を信仰する講：伊勢講、行者講、愛宕講、津島講、多賀講など
- 仏教的な講：念仏講、地蔵講、観音講、尼講など

伊勢講（別名、神明講）

伊勢講は、伊勢大神宮を崇拝し、伊勢神宮へ参拝する講です。年に数回、宿の家で食事をし、お金を積み立て、みんなで伊勢参りをする講です。

愛宕講

愛宕講は、火の神様である京都の愛宕神社を信仰する講です。各家のかまどに防火の神として祀られています。年1～2回集まり、宿の家で食事をし、世間話をします。毎年代表者がお参りし、火災除けのお札をもらってきます。

行者講

行者講は、奈良県大峰山にあります山岳信仰の蔵王権現（ざおうごんげん）に参拝する講です。年数回宿の家に集まり、般若心経を唱え、世間話をします。夏には行の一つである千川を行います。

大峰山は女人禁制の山で、講員は男性のみです。



津島講

津島講は、愛知県津島市の津島神社を信仰する講です。夏には代表者が疫病・厄難災除けの神様である津島神社へお参りし、お札さんをもらって帰り、町内の各辻にある津島さんに祀ります。日吉町では神社で津島祭の余興が行われます



地蔵講

お地蔵さんの功德をたたえ、お地蔵さんをお守りする人の集まりです。毎年夏には地蔵盆が行われ、子どもたちの楽しみの行事となっています。



念仏講

念仏講は、浄土宗の信者が念仏を唱える講です。寺や講員宅でお念仏を唱え、世間話をします。葬儀の際にも、念仏が唱えられます。



経済的扶助の講

「講」には経済的な相互扶助を目的とする契約講があります。竹鼻町では、昭和5年1月に、消防機具置場の設置と維持造成を目的とする「竹ヶ鼻講」が作されました。

実際の所は、たのもし講（共済的金融組合の一つ）がありました。



天満屋さんで見つかった
「竹ヶ鼻講契約書」→



サロンが待ち遠しい



山の神サロン

昭和 50 年前後に宅地開発された 30 戸ほどの住宅地で平成 13 年にふれあいサロンを立ち上げました。毎月 1 日の 13:00 から開催しています。

参加対象年齢はありません。



北町サロン

平成 21 年 10 月、女性サロンから開始（当初は手芸や茶話会でした）、その後 22 年 5 月から男女参加のサロンが始まりました。

年 10 回で 10:00 から 15:00 で開催しています。70 歳以上が参加対象でお花見やゲーム、屋外スポーツなどを楽しんでいます。

下野ふれあいサロン

平成 25 年 5 月から 80 歳以上の方対象で、年 6 回 11:30 から 14:30 で開催しています。柔軟体操やレクリエーション、おやつ、お食事を楽しんでいます。



上中南なごみ会

平成 28 年 8 月より開始。年 6 回 11:00 から 15:00 で開催しています。

65 歳以上の方が対象で、ゲームや食事会、お茶会などを楽しんでいます。



建部東四町健康サロン

当初、老人会で実施していたが、もっとみんなが集まる場をとすることで、「穂作会館」で 70 歳以上を対象にして開催しています。

また健康維持のため、体操を主とし実施しています。



いきいきサロンみなみ

人とゆっくり話せる場所が近くにあるといいな…と思い、平成 29 年に立ち上げました。年 9 回のサロンと夏の時期に 1 ~ 2 回の体操を実施しています。

竹鼻サロン

老人会やお講がなくなり、地域でのつながりや顔を合わせることがなくなりました。住み慣れた場所、小さな場でのコミュニティが健康につながると思い、平成 29 年に立ち上げました。年 10 回第 3 金曜日に開催しています。



日吉町サロン

「楽しく集まれる場づくりを」と、平成 29 年に立ち上げました。60 歳以上を対象に、隔月の第 3 月曜日の午後 1 時からゲームや『ちょっときてえな講座』などを開催しています。スタッフは 10 名で熱心に取り組んでいます。



堺町おしゃべりサロン

当町では老人会が無く、高齢者が集まる場がなくなりました。そこで平成 31 年より満 65 歳以上を対象にしてサロン活動を実施しています。名前のとおり、日頃会う機会が少ないため、「おしゃべり」を中心としたサロンです。参加者の方々がお手伝いしてくれます。



コミセンサロン

各町でのサロン活動をより広げた地区サロンをコミュニティセンターで行っています。高齢者の健康づくりや居場所づくりとして、役員の方々が計画したゲームやティータイムでくつろいだ時間を過ごしてもらっています。毎年 6 回程度開催しています。



お世話になるかも？

デイサービスセンターてんまや



元竹鼻商店街の酒屋「天満屋」を改装して、リハビリテーションを中心とした生きがいづくりを応援しています。地域の方々との関わりを大切にしながら、あたたかいサービスを提供していきたいです。介護保険など様々な制度が充実するなか、子どもも、大人も、障がい者も、外国人も、高齢者もみんなで地域のことを相談できる関係になればいいなって思います。

<アクセス> 東近江市建部日吉町 312
TEL : 0748-36-2112

慈照会カルナハウス



仏教用語で「慈悲・思いやり」のことをカルナ (karuna) と言います。カルナハウスでは、お年寄りを理解し、幸せを求めて、建部地域のサロン支援、羊の飼育を通した憩いの場の提供等、地域の公益的な取組にも力を入れています。



<アクセス>
東近江市建部下野町 797
TEL : 0748-23-3250

みんな和氣あいあいとやってま～す 建部シルバースターズ

60歳以上のメンバーで「健康第一」をモットーに明るく元気にソフトボールを楽しんでいます。練習は、毎年3～11月までで、練習の合間の雑談が心和むひと時です。



練習日程

毎週土・日曜日 7:00～または9:00～
八日市北小グラウンド

がんばってま～す 日吉寿光会グランドゴルフ部



月例会で試合し、商品を用意して表彰しています。夏には慰労会、冬は忘年会があり、部員で楽しんでいます。

現在、部員募集中です。

生きがいで～す 下野長寿会

毎年ゲームやお食事会、グランドゴルフを楽しんでいます。会員はほぼ世帯数と同じくらいの約50名ほどです。



練習日程

毎週火曜日・金曜日
夏：8時から 冬：9時から



冊子の挿絵を描かれた谷口さんから お話を聞きました…

谷口 隆雄さん（建部日吉町在住）

1937年（昭和12年）建部日吉町生まれ
41歳より油絵を習い、70歳より水彩画を描き始める。
5年前より昔と現在の建部の風景を描いている。

建部の絵を描かれたきっかけは

遠くまで出かけて絵を描いていましたが、身近なところにも美しい風景があることに気付きました。建部には河辺生きものの森や瓦屋寺町、日吉町など歴史ある美しいところがたくさんあります。

どのような思いで描かれていますか

絵も芸術のひとつですが、色々なものを芸術化していくことが大事だと思います。私は自分の力だけでなく、自然美の力も合わせて絵を描いています。自然美と人工美の組み合わせを見ていただければうれしいです。

今後も建部の絵を描き続けられますか

昔と今の建部を描きたいと思っています。建部には深い歴史があるので、表面だけでなく、建部の歴史も勉強しないといけないと感じています。人は美しいものを見ると、心身ともに健康になれると言われています。「美しみつけ」は絵を見るだけでなく、さまざまなことを楽しむことが大きい意味での芸術だと思います。絵を描くことが趣味にとどまらず、絵をきっかけに心が豊かになり、また人とのつながりになってほしいです。

インタビューを終えて…

谷口さんの水彩画は人間味があり、温かさを感じます。

昔の建部を知っている方が少なくなってきたが、建部のことを伝承していくことは必要だと思います。谷口さんにはこれからも建部の再発見として、ぜひ建部の風景を絵に残していただきたいです。



第2次建部地区住民福祉活動計画「お互いさまのまち たてべ」を主として、建部の地域づくりを考える会では、建部にはあんなことやこんなことが行われている、その中で我々が知らなかつた集まりや風習（愛宕講や伊勢講など）があり、広く地域の皆さんに知ってもらおうと、この冊子を作りました。ご覧いただいたとおり建部には、様々な集いがあり、

また昔ながらの風習等があり、これからもこういった集いの場や風習を絶やすことなく、地域のみんなで繋げていけばいいと思っています。建部に生まれて良かった、住んで良かったと言ってもらえるような、そんな地域づくりを目指して、今後も情報発信して行きたいと考えております。建部にお住いの皆さんも、今後の「まち」のことをちょっと考えてみませんか。ご意見や興味があれば、裏面の連絡先までご一報ください。